

2. 令和元年度収支決算

(1) 収入

(単位：円)

項 目	当初 予算額	現計予算額① (3/25補正)	決算額②	比較 ②－①	備 考
交 付 金	11,720,000	11,720,000	11,720,000	0	市地域づくり交付金
委 託 料	5,686,000	5,686,000	5,686,000	0	指定管理委託料
繰 越 金	1,000	1,000	692	△ 308	全年度繰越金
雑 入	1,000	1,000	1,059	59	預金利息
					寄付金
合 計	17,408,000	17,408,000	17,407,751	△ 249	

(2) 支出

(単位：円)

項 目	当初予算額	現計予算額① (3/25補正)	決算額②	比較 ②－①	備 考
1. 地域づくり交付金事業	11,722,000	11,327,000	11,326,439	△ 561	(1) + (2)
(1) 事務費	2,435,000	2,623,000	2,625,755	2,755	
1) 報酬	360,000	360,000	360,000	0	
2) 日当	100,000	92,000	92,000	0	
3) 賃金	1,275,000	1,375,000	1,360,730	△ 14,270	
4) 需用費	500,000	596,000	618,086	22,086	
5) 役務費	200,000	200,000	194,939	△ 5,061	
6) 備品費	0	0	0	0	
(2) 事業費	9,287,000	8,704,000	8,700,684	△ 3,316	
1) 本部事業	2,343,000	1,926,000	1,921,684	△ 4,316	
2) 地域づくり交付金事業 (地域づくり支援事業)	6,944,000	6,778,000	6,779,000	1,000	
2. 振興センター管理事業	5,217,000	5,217,000	5,217,000	0	
(1) 報酬	240,000	240,000	240,000	0	
(2) 賃金	150,000	120,000	120,000	0	
(3) 給料	4,330,000	4,462,000	4,459,991	△ 2,009	
(4) 需用費	417,000	360,000	361,363	1,363	
(5) 手数料	80,000	35,000	35,646	646	
(6) 備品費	0	0	0	0	

(単位：円)

項 目	当初予算額	現計予算額① (3/25補正)	決算額②	比較 ②－①	備 考
3. 社会体育館管理事業	469,000	469,000	469,000	0	
（１）報酬	240,000	240,000	240,000	0	
（２）賃金	150,000	135,000	135,000	0	
（３）需用費	79,000	94,000	94,000	0	
合 計（１＋２＋３）	17,408,000	17,013,000	17,012,439	△ 561	

<収 入>		<支 出>		<残 高>
17,407,751	—	17,012,439	=	395,312

※残高３９５，３１２円のうち、３９５，０００円は諸般の事情で令和元年度に実施できなかった事業費につき、花巻市へ返納し令和２年度に追加交付金として申請予定です。

残金３１２円は令和２年度に繰越します。

1. 令和元年度事業報告

(1) コミュニティ会議本部事業

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画 部会	① 広聴・広報活動	コミュニティ会議の活動やまちづくりへの理解と関心を深めるため「花南コミュニティだより」を第 122 号から第 143 号まで合計 22 回発行 (4/1 と 1/1 を除く毎月 2 回)。 発行様式は 4/15、8/1、2/15 号を 2 色刷り 4 ページ、12/1 号はカラー 2 ページで外注印刷。他は 1 色 2 ページを自営印刷し花南地区全世帯へ配布した。	253,410
	② まちづくり先進地研修 (10 月 30 日) 21 人参加	地域特有のまちづくりを研修するため、宮城県登米市登米町を視察した。登公民館の指定管理を受託し特徴的なまちづくりを行うとよまコミュニティ運営協議会は平成 29 年 8 月、当コミュニティ会議に視察に訪れたことからお互いの地域課題について理解を深める交流が図られた。	102,962
	③ 住民ワークショップ (6 月 29 日) 30 人参加	花南地区まちづくり基本計画や事業の見直しを行うため「ハートフル花南のまちづくりを話し合う会」を実施。専門部会ごとにテーブルを設け施策や事業について意見交換を行い基本計画の共通理解やまちづくりに大切なことを確認した。	4,345
	④ 人材育成 (6 月 15 日から 8 月 3 日まで全 5 回講座) 受講者 11 人	まちづくりを担う人材の育成と確保を目的に「上館協働塾」を開催した。 1. 開講式、花南のまちづくり 6/15 花巻のワインづくり 2. 稗貫和賀の百姓一揆(公開講座) 6/29 3. まちづくり事例発表、WS ① 7/13 4. まちづくりワークショップ② 7/20 5. まちづくりワークショップ③ 8/3 グループ発表、閉講式	53,846

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画 部会	⑤国際交流事業 (12月14日) 留学生8人(韓国)、米 国交換留学生1人、南 中学生12人、教職員 食改協・体協・スタッ フ 合計57人参加 会場＝花南振興セン ター	富士大学の留学生と南城中学校生徒の交流を目的に開催した。ピンポンゲーム大会(卓球ダブルス)でお互いの緊張をほぐし、意見交換会・手巻き寿司食事会で交流を深めた。花巻市国際姉妹都市ホットスプリングス市からの交換留学生も参加し、明るく楽しい雰囲気の会場でお互いの文化や生活の違いを理解した。また、留学希望がある中学生からは留学に対して不安に思うことを質問し留学生からアドバイスをいただいていた。	48,690
	⑥花南寄席 六華亭遊花落語公演 (11月10日) 約160人入場	講演会事業の一つとして、第6回花南寄席を花南地区文化祭2日目の午後に併せて開催した。平成31年2月、文化庁芸術祭優秀賞を受賞した遠野市出身で花巻南高校卒業の六華亭遊花師匠の東北弁落語に、会場は笑い声と笑顔であふれ大変好評であった。	215,001
	⑦南城中学校講演会 (7月9日、南城中 学体育館) 生徒、教職員、高 齢者・女性学級、 地域住民 合計267人参加	既成概念にとらわれず新しい手法で花巻のまちづくりをリードする若手経営者の小友康広さんを講師に招き、南城中学校を会場に開催した。 小友さんはマルカン大食堂を復活させたかった理由や、地域の遊休不動産をアイディアと花巻に対する想いを共有する仲間と新しい魅力あるモノに再構築する「リノベーションまちづくり」について生徒目線の言葉でわかりやすく講演された。	25,414
	⑧花南の明日を 語る懇談会 (4月21日) 73人参加	コミュニティ会議代議員や専門委員、自治公民館長を対象にまちづくり講演会を開催。講師に東北学院大学地域共生推進機構の特任准教授である菊池広人さんを招き、持続可能な地域運営組織となるための住民意識や仕組みについて学んだ。	10,000

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
総務企画 部会	⑨富士大学紫陵祭 (10月19、20日) 会場：富士大学 キャンパス	包括連携に関する協定を結ぶ富士大学の学園祭に地域コラボ企画としてブース出店し、コミュニティ会議の活動パネル展示とパンフレットで情報発信した。 また、併設した無料アトラクションは女子ソフトボール部員と協働で実施。元気いっぱい明るい学生たちが率先してブースを運営し、訪れた子どもたちや家族連れに大好評。多くの来場者がコミュニティ会議のブースで楽しんだ。	28,926
	⑩繋がるリレー講座 (6月13日) 松園＝講演会 (6月27日) 花南＝ラフターヨガ (7月11日) 花北＝落語鑑賞	一つのテーマについての生涯学習事業を日居城野・花北・花南地区コミュニティ会議で共同企画、運営しそれぞれの振興センターを会場に初めて開催。 今年度は健康と笑顔をテーマに「笑う門には健康来たる講座」を実施。3会場合わせて116人が参加し笑顔いっぱい楽しみながら健康づくりに励んだ。	12,020
	⑪「活動の歩み」 記念誌発行	平成25年に発行した「花南地区コミュニティ会議発足5周年～活動の歩み～」に続き、平成24年度から平成31年4月までの活動をまとめた記念誌を発行予定だったが、編集委員会を立ち上げ令和2年度に実施することとした。	0
生活環境 部会	①自衛消防訓練・救命講習会 (9月5日) 57人参加	地域の防災意識向上と初期消火や救急救命術の習得と確認を目的に実施した。講師は花巻中央消防署職員が務め避難訓練では初めて煙体験を実施。また、炊き出しについて花巻地区赤十字奉仕団の皆さんが助言指導を担当し、自主防災会の発電機を活用して炊飯。参加者各自が、おにぎりを作り炊き出しを体験した。	26,196

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
生活環境 部会	② ボランティア 支援	南城小学校ボランティア委員会の空き缶プルタブ回収を支援するため、振興センターに回収窓口を開設した。 また除雪機の貸出、点検整備、保険加入によりボランティア除雪を支援した。	128,052
	③ 防犯・防災推進 事業	南城小学校児童の安心安全確保を地域ぐるみで推進する南城小学校見守りボランティアの周知と名札ホルダー100個を購入し支援した。 また、花南地区有志の家庭や事業所などで構成されている「こども110番の家」ののぼり旗更新・掲出を図った。	19,836
	④ 交通安全推進 事業	交通安全協会南分会、花南地区交通安全母の会と連携し交通安全教室や花南の夢あかりの周知を図った。また、「通学路スピードおとせ」のぼり旗設置で啓蒙活動を行った。	0
保健福祉 部会	① 世代間交流 (8月1日) 児童126人、花南 老連・食改協等ス タッフ52人 合計178人参加	花南老連、花南食改協、南城婦人会有志の皆さんに協力をいただき、児童、親、祖父母世代の交流会を開催。昔遊びは小学校体育館、昼食会等を振興センターで実施し世代を超えて楽しく交流を深めることができた。	72,477
	② 子どもひろば 支援 (毎月第3火曜日 開設) 2/18、3/17は中止	子育てのアドバイスや、親どうしの交流の場として、花南在住の保育士や教員経験者、民生委員など有志の皆さんが開設している「かなん子どもひろば」へ、文具・食材に係る経費を支援した。 就学前の幼児は延べ105人、保護者家族は延べ92人が利用した。季節の行事ごとに花南食改協の皆さんがおやつやデザートに腕を振るっていただいた。延べ89人の運営スタッフ(食改協除く)の皆さんが子どもひろばを支えた。	11,201

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
保健福祉部会	③ 花南シニア井戸端ひろば (11月17日) 一般 15 人、スタッフ 13 人 合計 28 人参加	高齢者の外出機会創出と生きがいづくりの場として開催。懐かしの映像鑑賞や踊りと尺八演奏、歌声ひろばで楽しみ、お茶っこタイムで傾聴活動を行い地域の交流を深めた。	5,682
	④ 親子料理教室 (1月11日) 児童と保護者 5 組 11 人、食改協他スタッフ 6 人 合計 17 人参加	料理を通じて食への関心と食育の大切さを学び、親子のふれあいを深める機会として開催。講師に東和地域おこし協力隊員を招き、花巻産の食材にこだわった自然にやさしい料理を児童と保護者が協力して取り組んだ。アイガモ農法のお米でおむすび握りに挑戦した児童からは「おにぎりを握るのが楽しかった」や「味噌汁の味噌をすり鉢でつくるのが楽しかった」などの感想が寄せられた。	16,411
	⑤ 介護福祉講演会 (10月10日) 地区民 83 人、民生児童委員 14 人 合計 97 人参加	県のいわて保険福祉基金助成事業を活用し、講師に内閣府地域活性化伝道師を招き開催。超高齢化社会が訪れる 2025 年問題に対応する地域包括ケアシステムは、住民・地域・行政が助け合い補完しあう仕組みづくりが大切でることと、住民相互に思いやりの心を養い自助・共助の地域社会を築く重要性について理解を深めた。	0
地域振興部会	① 雨ニモマケズ詩碑周辺整備事業 (7月25日～10月6日)	雨ニモマケズ詩碑周辺整備の一環として全国から訪れる賢治ファンをきれいなお花でお迎えし楽しんでもらうため、賢治文学散歩にプランター花壇 100 個を設置。 プランターへ花苗の植栽は南城保育園児 15 人と協力して行い、その様子は多くの取材を受け広く報道された。また、プランター花壇への水やりは専門委員が輪番制で実施した。	131,668

(単位：円)

地域振興 部会	②景勝地管理	桜並木整備事業で植栽した不動態内に隣接した大規模住宅地が整備されたことから、環境整備のため雑草の刈り払いや害虫駆除剤の散布を行った。	10,000
	③地域交流事業 (5月25日) 農業ふれあい公園 自治会9チーム参加	スポーツを通じて住民の交流を深めるため「第9回花南地区自治会対抗グラウンドゴルフ大会」を開催した。選手・審判・運営スタッフの参加者は100人。昨年の優勝スコアを7チームが上回る熱戦が展開された中、諏訪チームが優勝に輝いた。	62,477
	④地域振興研修会 (2月25日) 20人参加	これから整備されるスマートICが地域に与える効果等について理解を深めるため、振興センターで事前研修を受けた後、建設予定地や既存のスマートIC並びに周辺の市街地を視察。 また、新図書館の整備構想が示されたことから、JR矢幅駅前に整備された図書館併設の複合施設を併せて視察し、同施設の会議室で振り返りディスカッションを行い参加者による共通理解を図った。	75,350
	⑤新花巻発見探訪ツアー (3月3日＝中止)	八日市つるし雛まつりをメインに石鳥谷地域を探訪予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により事業を中止した。	0
教育文化 部会	①宮沢賢治に関する事業 (8月7日) 26人参加	宮沢賢治ゆかりの地を歩き、作品の原風景にふれることで賢治の精神や想いを探究した。今年度は奥州市江刺地区を訪れ人首文庫、佐伯家武家屋敷、種山ヶ原賢治詩碑を巡った。 また、振興センター第2会議室の賢治さん図書コーナーに蔵書する書籍を購入しコーナーの拡充を図った。	33,480

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
教育文化 部会	②児童生徒の部屋開設事業 夏・延べ 63 人 冬・延べ 107 人	夏休み・冬休み中の児童生徒の自主学習を支援するため、児童生徒の部屋「自学館」をそれぞれ 5 日間開設した。花南地区在住の学校長 OB の皆さんが助言にあたり、冬休みの自学館は過去最高の参加者数を更新した。	3,955
	③親子工作教室 8 月 3 日 25 人 12 月 28 日 41 人	夏休みと冬休みの工作を支援する親子工作教室を開催した。夏休みは「早池峰エッグ」、冬休みは「木のスツール(イス)」を親子で協力しながら作品を完成させた。今年度の講師は地元の民間企業を起用し多くの親子が参加した。アンケートでは「工作の内容が魅力的」「子どもが参加したいと言ったから」等の参加理由が多く今までにない目新しい企画が評価された。	79,491
	④花南地区文化祭 (11 月 9、10 日)	芸術の秋恒例の「第 41 回花南地区文化祭」を実行委員会により開催した。大谷地太神楽と沖郷土芸能部の郷土芸能鑑賞会のほか、幼稚園児、老連、自治会、振興センター利用団体のステージ発表や作品展示が行われた。2 日目の午後には「第 6 回花南寄席」を併催、数多くの観客が来場し賑やかな秋の祭典となった。	122,866
	⑤花南地区民ふれあい登山 (7 月 3 日) 16 人参加	生涯学習事業として花南地区住民を対象にふれあい登山を開催した。区界高原の兜明神岳から岩神山まで登山を行い、講師は教育文化部会の専門委員が務めた。	66,528
	⑥自然観察会 ・5 月 16 日 22 人 ・6 月 11 日 23 人	生涯学習事業として自然観察会を 2 回開催。第 1 回は蘭梅山・巖美溪(一関市)、第 2 回は栗駒山世界谷地湿原(宮城県)で季節の植物や豊かな自然を観察した。	94,750

(単位：円)

担当部会	事業名	事業内容	事業費
教育文化 部会	⑦教育講演会開催事業 (3月3日＝中止)	東日本大震災津波に学ぶ会(宮古市教育委員講演会、早池峰大償神楽による鎮魂の舞い)を開催予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により事業を中止した。	0
	⑧花南高齢者学級、かなん女性学級 (6月19日～1月16日)	生涯学習事業として「花南高齢者学級」及び「かなん女性学級」を開講した。両学級とも6月から1月にかけて全7回の講義を行い、高齢者学級は延べ114人、女性学級は延べ141人が受講した。その中で7回全て受講した方は5人であった。様々な学びを通じて健康で心豊かな生活と社会参加の促進を行うとともに、受講者どうしの交流を深めた。	181,850
	⑨こども習字教室 (12月26、27日) 延べ22人参加	書道の練習を通じて児童の学習意欲を高めるため「こども習字教室」を開催。2日間、書道に向き合い練習を重ね、好きな文字を色紙に書き、長半紙に見事な作品を完成させた。	24,800
本部事業合計			1,921,684

(2) 地域づくり交付金事業(地域づくり支援事業)

(単位:円)

事業名	実施地区名・団体名	交付額
道路整備	道路舗装(100%支援) 2路線 諏訪地内2路線	2,516,000
道路施設整備	側溝整備(100%支援) 1路線 山の神地内1路線	957,000
生活環境整備	①街路灯整備(100%支援) 新設11灯、修繕11灯、移設1灯 桜町一(新設3)、桜町二(新設1)、桜町四(修繕1)、南城(新設2、修繕4)、十二丁目(新設3、修繕2)、成田(移設1)、山の神(新設2、修繕4)	1,112,000
	②カーブミラー(100%支援) 新設1基、修繕1基 桜町一(修繕1)、大谷地(新設1)	350,000
	③ゴミ集積所整備(75%支援) 建替3 桜町二(建替2)、大谷地(建替1)	438,000
	④防災倉庫(75%支援) 新設1棟 十二丁目(新設1)	300,000
自治公民館整備	自治公民館の修繕・備品購入(50%支援) 諏訪(テレビ・倉庫整備、トイレ改修)、桜町一(会議用机・イス整備、床・内壁修繕)、桜町(エアコン整備)、桜町四(折畳イス整備)、山の神(エアコン整備)、大谷地(防災カーテン・折畳イス整備)	1,010,000
防災対策	防災研修会(50%支援) 山の神	56,000
団体活動支援	花南教育振興協議会(事業支援)	40,000
合 計		6,779,000

(3) 花南振興センター管理事業

業務内容	①施設の利用受付及び貸出	
	・開館日数	330 日 (12 月 29 日～1 月 3 日、3 月 2 日～31 日休館)
	・利用日数	317 日
	・利用者数	延べ 12,955 人
業務内容	②使用料の徴収	
	・施設使用料(年間)	525,600 円
	・同 減免額	487,100 円(免除)
	・冷暖房使用料	86,840 円
業務内容	③修繕(需用費 361,363 円の内)	
	・第 2 会議室照明一部 L E D 化	122,472 円
	・第 1 会議室エアコン修繕	59,400 円
	合計	181,872 円

(4) 花南地区社会体育館管理事業

業務内容	①施設の利用受付及び貸出	
	・開館日数	330 日 (12 月 29 日～1 月 3 日、3 月 2 日～31 日休館)
	・利用日数	318 日
	・利用者数	延べ 9,857 人